

～教員インタビュー（大島編③）～

大島町立第三中学校 教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

私には、「様々な経験を通して自分の言葉で語れる教師になりたい」という思いがあります。昨年度、前任校で3年生の担任を任せてもらい、一つの区切りを迎えたタイミングで、「思い立ったが吉日だ」と感じ、公募に挑戦しました。そして、挑戦したいと思ったことに素直に飛び込める人でありたい、そういう自分になりたいという思いも、島への赴任を決めた大きな理由です。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

朝礼などで全校生徒が集まると、教職員の方が多いのではないかと思うほどの人数の少なさに驚くことがあります。でも、授業では一人一人の気付きやつまずきに丁寧に向き合うことができ、言語活動や協働学習なども少人数だからこそ学びを深められる場面が多いです。私自身も生徒と「一緒に」授業をつくっている感覚が強く、とても楽しいです。毎日授業を通して全校生徒と話し、関われるのも島ならではの良さだと感じています。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

生徒の人数、学級数に対して学年教員が多いので、物理的にも一人一人に関わることができる時間が多いところは内地との違いだと思います。また、子どもたちの遊ぶ場所が海や学校のグラウンドなどの自然だということも、内地との良い違いだと思います。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

想像以上に忙しく、仕事の幅も広くて充足感を感じています。そのため、平日は「島にいる」という感覚はあまりありません。部活動も活発です。また、指導力が高く研究熱心な先生も多く、校内はもちろんのこと、島内の他の小中学校の先生方からも研修等で多くの学びを得られています。生活面では、飲食店が多く、休日に暇になることがない点もイメージと違いました。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

授業内で生徒全員の声を聞くことができるところ、個に応じた指導ができるところ、さらには、全員での話し合いができるところは一番の醍醐味かと思います。また、これからある町のお祭りやレクリエーション大会にも参加するつもりで、楽しみです。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

車も、運転免許もないため、いつも同僚の先生方が町の方まで連れて行ってくださっています。平日は、近くのスーパーが19時に閉まるのでなかなか買い物に行くことはできませんが工夫しながら対応しています。徒歩や自転車で行ける距離に美味しいラーメン屋さんやコロッケ屋さんもあります。宅配便もすぐに届くため、想定していたよりも不便はなく、安心して生活できています。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

同僚の先生方がとても優しく、フレンドリーで、家や飲食店でご飯を食べたりバーベキューをしたり、寂しいと感ずることがないほど楽しく過ごしています。また、徒歩5分もかからないところに綺麗な海岸があったり、豊かな自然の中で野生のリスやキョンに会えたりと、一人の時間も飽きが来ることはありません。今後、近隣の先生方と釣りに行ったりダイビングのライセンスを取ったりすることも計画しているので、とても楽しみです。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

1日で全校生徒の名前と顔を覚えることができたことです。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

教職員の人数も内地に比べると少ないため、教員間の連携の取りやすさや協力体制の作りやすさが魅力だと思います。あとは自然が豊かなところです。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

新しい発見、学び、高揚感で満ち溢れていて、島に来てよかったと日々思っています。豊かな自然と、素直で人懐っこい生徒、そして温かい先生方に日々囲まれて過ごせる環

境があります。その中で、自分自身も教師として、人として成長していける実感があり、日々の活力につながっています。ぜひ、少しでも興味があれば挑戦してみてください。

～教員インタビュー（大島編④）～

大島町立第二中学校 教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

採用試験を受ける際に、初めて島しょ地域の存在を知りました。それをきっかけに興味を持つようになり、自然に囲まれた環境での学校教育に携わりたいと考えるようになりました。今まで一人暮らしをしたこともなかったのに、心機一転して新しいことに挑戦したいと思ったからです。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

前任校では特別支援学級にいたため、授業時に少ないと感じることはありませんでした。人数に関しては前任校と同じような感覚で授業ができています。委員会や朝礼等で3学年がそろう場面や部活になると人数の少なさを感じやすいように思いますが、部活によっては島内の中学校で連合練習等もあるため、今の学校では少人数による不便さはあまり感じません。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

全学年が単学級のため、小学校時代からクラス替えがないところです。学級内の人間関係が内地と比べると濃いように思います。だからこそアットホームな雰囲気もありますが、緊張感をもたせたい場面では雰囲気が崩れやすいように思います。上下関係も内地ほどははっきりしておらず、全体的に相手との距離感の取り方が近い傾向にあります。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

仕事に関しては、特別支援学級から通常学級になるため転職するような気持ちでした。ため特にありませんでした。日常生活については、コンビニやチェーン店がないことを聞いて不安に思っていたのですが、普段から利用する回数が少なかったため、不便さは感じません。むしろ食事の作り置きや、買い出しを週末で完結するように工夫するなどの生活スキルが向上するので、初めて一人暮らしをしている身としてはありがたい環境だと思います。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

今のところ特にありません。今後予定されている町のイベント（盆踊り、町レク等）が楽しみです。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

週末にまとめて買い出しに行くため、平日は基本直帰しています。閉店時間が早いこともありますが、仕事帰りには店を利用しないため不便さは感じません。価格帯が内地に比べると高いですが、家賃が内地よりも明らかに安いので、バランスはとれているように思います。買い物上手になれそうです。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

バレーボール部の顧問をしているため、基本的に休日のどちらかは島内の連合練習に参加しています。練習後は買い出しや家の掃除などをして、自分の時間を充実させています。天気の良い日には港のほうまで散歩に行くこともあります。普段は車通勤のため、徒歩で近くの店まで行くのも普段と違った景色を感じることができて楽しいです。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

入学式では、来賓や地域の方々がたくさん参加されていて、内地ではそこまで多くなかったため驚きました。地域との根強いつながりを感じました。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

教職員の人数も内地に比べると少ないため、教員間の連携の取りやすさや協力体制の作りやすさが魅力だと思います。あとは自然が豊かなところです。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

迷っているなら、実際に島に観光に来て、島の雰囲気を感じてみるのも大事だと思います。私は大島に行きたくて、事前に観光をして島の雰囲気を知ること、公募の書類作成に役立てることができました。機会があるなら、ぜひ挑戦してほしいです。